

共 済 と 保 険
四十四年三月号目次

◇季節の写真・沈丁花（じんちょうげ）

◇グラフ・漁業共済引受共済金額の伸展状況

巻頭言・うすれゆく独自性——特色探究への努力を怠るな——（坂井）……（八）

交 叉 点

むしばまれている健康と医療保険……北川 休

日本サラリーマン・ユニオンの課題……亀田 候治

……（一〇）

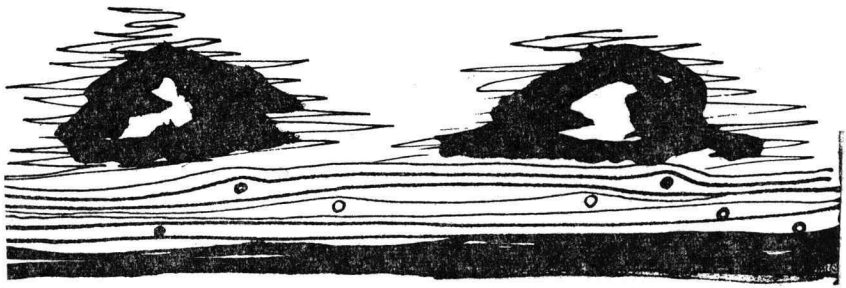
漁業共済事業の性格についての試論

……月江基一郎（二五）

ソ連邦における保険△第十四回▽……E・シュツテ（四一）
印南博吉 訳

協同組合共済事業の展望……高橋新太郎（三〇）

きりぬき ■用語 ■いずみ……（七七）



落穂集 ⑦ 青谷和夫(六八)

——日本保険業史・「保険法制と監督行政の変遷」——

四月から実施される

傷害共済(農協共済)の実施要綱 (五六)

■漁業共済について (四九)

ブック・レビュー・協同組合の基礎理論(三輪昌男) (五四)

セールスマンの栄光(間宮 武)

望
共済・農協の養老生命共済、こども共済が最高限度額を引
上げ・農協共済一月末実績出る (七七)

生保・統一経理基準についての通達出る・磐光ホテル火災
の保険金判明

展
損保・自賠責五〇〇万円に引上げの意向・大蔵省が料率競
争問題で見解を表明・住友海上が「株式配当」

統計表(民保・簡保・農協共済一〇年間事業成績) (六六)

編集後記 (八一)

表紙デザイン・峰 岸 聖 子 目次・交叉点カット・全共連 印 南 博 之